

今冬の大雪を踏まえ、雪害防止に向けた緊急対策を実施します

今冬の県内の雪による死者数が直近 10 年で最多となるなど、近年、雪害がいつそう深刻な状況となっています。そのため、県では、県民の皆様にも積雪時でも安心して暮らしていただけるよう、これまでの雪害防止に向けた取組を一段加速化した緊急対策を実施します。

記

1 屋根雪下ろしの安全対策

- ・ 「命綱固定アンカー普及促進事業」の制度拡充
(要援護世帯の補助率 1/2→9/10 など)
- ・ 安全啓発と連携した命綱固定アンカーの普及促進
- ・ 屋根雪下ろし作業の安全啓発のため情報発信の強化

2 屋根雪下ろしに関わる人材確保・育成

- ・ 平時における雪下ろし人材確保策の強化
- ・ 災害時における雪処理の広域調整の取組強化

3 事故発生の抜本的解決に向けた新技術の開発・普及促進

- ・ 「にいがた防災ステーション」を活用した技術・製品の導入促進
- ・ 産学官連携「スノーテック・イノベーション」(仮称)による新技術・新商品開発支援

本件についてのお問い合わせ先

- 命綱固定アンカー普及促進に関すること
土木部都市局建築住宅課 水澤 (直通) 025-280-5438 (内線) 3380
- 屋根雪下ろしの安全啓発に関すること
知事政策局地域政策課 樋山 (直通) 025-280-5092 (内線) 2410
- 災害時における雪処理の広域調整の取組強化
防災局危機対策課 川辺 (直通) 025-282-1630 (内線) 6430
- 新技術の開発・普及促進に関すること
産業労働部創業・イノベーション推進課 藤田
(直通) 025-280-5242 (内線) 2780

令和8年度 雪害防止に向けた緊急対策

1 屋根雪下ろしの安全対策

- 「命綱固定アンカー普及促進事業」の制度拡充※
※要援護世帯の補助率1/2→9/10（県4.5/10 市町村4.5/10）など
- 安全啓発と連携した命綱固定アンカーの普及促進
- 屋根雪下ろし作業の安全啓発のため情報発信の強化

2 屋根雪下ろしに関わる人材確保・育成

- 平時における雪下ろし人材確保策の強化
- 災害時における雪処理の広域調整の取組強化

3 事故発生の抜本的解決に向けた新技術の開発・普及促進

- 「にいがた防災ステーション」を活用した技術・製品の導入促進
- 産学官連携「スノーテック・イノベーション」（仮称）による新技術・新商品開発支援

今冬の豪雪による被害の概要

- ・ 今冬の雪による死者は過去10年で最多の25人となり、そのうち65歳以上の高齢者が占める割合は8割以上であった。また、雪による住家の被害も197件発生している。
- ・ 死亡要因は高所からの転落と疾病の発症が多く、一人作業が多いことから、事故発生の覚知が遅れ、死亡に至るケースも増えたと想定される。
- ・ 雪下ろし等除雪作業による死亡が最も多く、中でも高所からの転落が多い。
- ・ 積雪増の後に被害が増加する傾向があり、今冬は積雪が多い期間が比較的に長かったため、死傷者数が多かった。